

吉野大臣宮城県訪問ぶら下がり会見録
(平成30年1月11日(木) 14:34～14:42 於) 南三陸町)

1. 発言要旨

こんにちは。本日は、南三陸町を訪問しました。最初に南三陸町役場の新しい庁舎を見学させていただきました。ここは南三陸杉をふんだんに用いた新しい庁舎で、7年前、庁舎が津波で流されてしまった南三陸においても、復興が着実に進んでいることを実感いたしました。

特に、国際認証であるF S Cを取得した認証材を使っております。そして、その部材の供給者、特に、建設会社が、C o Cチェーンといって、それぞれの認証を取り、全体認証、いわゆるプロジェクト認証というんですけど、公共施設として日本で初めてそこまで取得して、南三陸の杉がここに使われているということを行ったところでもありますので、私も木材屋としては何とか是非見学したいなと、かねてから思っておりましたので、今日見られてよかったと思っております。

また、南三陸町では林業と養殖業の両方で国際認証を取得しております。本日は、実際に国際認証を得ている丸平木材にもお伺いしました。被災から立ち直り、南三陸のブランド力向上に取り組まれている姿に感銘を受けたわけであります。

南三陸は、佐藤町長さんが本当に循環型の町をつくりたい、エコタウンをつくりたいということで、南三陸にある木材と海、ここもA S Cという国際認証を取られております。木材もF S Cという国際認証を取られております。

また、農業の方も今、グローバルG A Pという国際認証を取るべく、検討を進めているところでもあります。この三つを取るとある意味で「三冠王」でありますので、そういう意味の国際認証を取りながらのエコタウンに取り組まれています。

最後は、ここ南三陸B I Oでございます。正にごみゼロの町をつくりたいということで、特に生ごみは全部ここに集まって、メタンガスに変わって、そこで電気を起こし、そして、メタンガスをつくる上での液体の肥料としてここらごみは1個も出ないと、そういう完全なる循環型の社会をつくっているということで、これは全国に、また全世界に広めていくべき事業かなと、こんなふうに感じるところです。

以上です。

2. 質疑応答

(問) 今、復興計画も発展期に入っているということなんですけれど

も、このような南三陸の新しい価値、循環型まちづくりというのを視察されて、今後どのように復興施策に生かしていきたいと思われませんか。

(答) 私たちの仕事は復興です。復旧ではありません。復旧は元の震災前の姿に戻すことでありますから。それはゼロレベルなんですね。元に戻った。私たちはプラスの世界、復興をやっていかなければならないわけにありますので、そういう意味ではエコタウン、循環型のこの南三陸方式は本当に参考になるところでありますので、今後とも他の町村等々にもお話をし、循環型の社会をつくるべく、復興庁としても一生懸命やっていきたい、このように考えています。

(問) 具体的なサポートとか、制度ということではなくて。

(答) はい。それはこれからいろんな要望を踏まえながら、できるところはやれるように、これから考えていきたいと思っています。

(問) 先ほど南三陸杉のお話がちょっと出ましたけれども、新国立競技場での使用に関して、町長の方から御要望もあったと思うんですが、視察の時に大臣もお話しになっていましたが、復興庁の中に五輪担当を置いたというふうにおっしゃられましたよね。その南三陸杉の使用について、どういうふうにお考えになっていらっしゃるんですか。

(答) 復興庁に参事官クラスの復興五輪推進官を筆頭に、新しい部署をチーム8名でつくっております。ですから、被災地の各市町村を巡って、どういう復興五輪ができるか、こういうことをヒアリングしながら、これからいろんなところで被災地の窓口になって組織委員会なり、鈴木大臣のところなり、東京都知事なり、いろいろお話を申し上げて、復興五輪ここにありという形で示していきたいと、このように考えています。

(問) 南三陸杉を使われるということは、その一つの象徴にもなると思うんですよね。その辺のところは今後どういうふうに進めていけるか、考えていらっしゃるんですか。

(答) 南三陸杉は正しくオリンピック施設で使ってくれる森林認証を取っておりますので、FSCを取っておりますので、きちんと南三陸杉は適材、使える材料だということです、積極的にお話をしていきたいと思っています。

(問) 今日で震災から6年10か月ですけれども、そこに関しての御所感をお願いします。

(答) 宮城県警も福島県警もそうなんですけど、今日は月命日の日でございますので、行方不明者の捜索を警察の方々は毎月やっております。多くの方々、犠牲になられた方々、そして、被災を受けて困難な生活をされている方々の思いを込めて、復興に改めて全

力を尽くしていかなければならないな、こんな今日の気持ちでございます。

(問) 今回の視察の目的とか、狙いというのは改めて、よろしいですか。

(答) まずは、先ほども申しましたように、南三陸の庁舎が F S C を使った、認証材を使った庁舎である。そして、それも全体認証、プロジェクト認証というんですけど、それを公共施設として日本で初めて取られた建物であるということで、私、木材屋なものですから、是非見てみたいな、来てみたいなという思いで参りました。

どうもありがとうございました。

(以 上)